

あ と が き

「Enrichment－豊かな情操－Intelligence－質の高い知性－Creativity－輝く創造性－」これは、本校の教育目標です。21世紀の知識基盤社会を生き抜く子どもには、正しい価値判断や主体的・創造的な行動ができる資質や能力をもつことが望まれます。そのためには、対象の本質や価値、心理などの獲得という学びの結果得られるもの以上に、学びの過程が重視されなければなりません。

私たちは、この教育目標を達成するために、「学びをデザインする子どもたち」というテーマを掲げ、2年目を迎えました。教師が学びをデザインするのではなく、「子どもが学びをデザインする」のです。これは、課題を解決するために、学習対象に向き合い、ときには、学びの過程を修正しながら、主体的な学びを続ける子ども育てていきたいということなのです。しかし、教師は、全てを子どもに任せるではありません。子どもの学びを丁寧にとり、支援することが必要であると考えています。そこで、本年度は、新たな自分を「つくる」子どもたちへの支援として「つなぐ・つむぐ」ことを大切するために、サブテーマを「つなぐ・つむぐ・つくる」と設定し、子どもの主体的な学びを追究してきました。

来年度は、「子どもが学びをデザインする」という研究の最終年度をむかえます。研究の集大成として、取り組みを進めてまいります。

この1年、校内授業研究、複式教育研究会、夏季教科領域別研修会、教育研究発表会、ICT活用授業研究会など、さまざまな機会を通して授業改革・カリキュラム改革・学校改革に取り組んできました。研究を進めるにあたり、多くの先生方にご指導、ご助言いただくことができましたこと、本当にありがとうございました。

秋田喜代美先生には、平成21年度の教育研究発表会から毎年、本校に来ていただき、ご指導を賜りましたこと感謝いたします。

今日まで、大勢の皆様からいただいたご意見・ご指導を糧に、今後も研究を進めていく所存です。

ここに収録されている実践記録は、ささやかではありますが多くの方々にご高覧賜り、ご教示、ご批評いただければ幸いに存じます。

副校長 沖 香寿美